

臨床研究に関するお知らせ

当院では以下の臨床研究を行っています。もしもご自分が研究対象者に含まれていると思われ、かつご自身の記録の研究使用を望まない方については下記のお問い合わせ先に直接ご連絡いただければ幸いです。研究に関するご質問なども、直接下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

① 研究課題名	サイバーナイフを用いた頭蓋底髄膜腫に対する定位放射線治療における治療計画パラメータの違いが線量分布の質に及ぼす影響の検討
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
新潟脳外科病院にて 2019 年 5 月サイバーナイフ治療開始以降、頭蓋底髄膜腫に対する定位放射線治療症計画を立案した約 10 症例。	
② 概要	
サイバーナイフを用いた定位放射線治療（小さな病巣に集中的に照射する治療）をはじめとする高精度放射線治療では、腫瘍に高線量を集中させ、周囲の正常臓器への線量を可能な限り低減するという「質の高い線量分布」を達成することが重要です。特に頭蓋底髄膜腫は、腫瘍の周辺や内部に視神経や脳幹などの重要な正常臓器が存在することが多く、より高い精度が求められる疾患です。線量分布は、専用のコンピュータを用いたシミュレーション（治療計画）によって作成されます。質の高い線量分布を作成するには、治療計画の設定値（治療計画パラメータ）を最適化することが不可欠です。しかし、頭蓋底髄膜腫のように治療計画が難しいケースでは、多くの治療計画パラメータが線量分布に与える影響について、十分に解明されていない部分もあります。本研究では、頭蓋底髄膜腫に対するサイバーナイフ定位放射線治療のデータを対象に、治療計画パラメータが線量分布に与える影響を詳細に検討し、最適なパラメータを推定することを目的としています。	
③ 申請番号	2024-0260
⑤研究の目的・意義	本研究の目的は、頭蓋底髄膜腫に対するサイバーナイフ治療計画において、線量分布に影響を与える治療計画パラメータの種類を検討し、最適なパラメータを明らかにすることです。研究の成果により、今後の治療計画において質の高い線量分布を効果的に提供できる体制の構築が期待されます。
⑥研究期間	2025 年 3 月 12 日(倫理委員会承認日)から 2026 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	数値的な解析を目的として、放射線治療データを用います。当院放射線治療科内で解析を行うほか、個人情報匿名化済みのデータは新潟大学大学院保健学研究科でも解析を行います。
⑧利用または提供する情報の項目	放射線治療計画のパラメータ（放射線をかける大きさ、量、の形など）および、線量分布データ（腫瘍や正常臓器に付えられる線量データ）
⑨利用する者の範囲	新潟大学大学院保健学研究科、当院放射線治療科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	当院放射線治療科 丸山克也
⑪お問い合わせ先	当院放射線治療科 丸山克也、又は以下の連絡先までお問い合わせ下さい。 所属：新潟大学大学院保健学研究科 放射線技術科学分野 氏名：宇都宮悟 Tel：025-227-2380 E-mail：sutsumo@clg.niigata-u.ac.jp

